平成２８年度第２回平塚市美術館協議会次第

平成２９年（２０１７年）３月１５日（水）
場　所　平塚市美術館研修室
時　間　午後１時３０分から

１．開会

２．委員紹介

３．職員紹介

４．議題

（１）平成２８年度の事業報告について

- 作品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
- 展覧会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
- 教育普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ13
- その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ20
- 施設利用者等の統計・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ24

（２）平成２８年度奏プラン事業の点検評価について

（３）平成２９年度の事業予定について

- 展覧会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ27
- 教育普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ32

（４）その他

５．閉会

平塚市美術館協議会委員名簿

（平成２８年６月１日～平成２９年７月３１日）

氏　名	選出分野	備考
ミズサワ ツトム 水沢 勉	学識経験者	会長
カワノ タカヒロ 河野 孝博	学識経験者 （大学交流）	副会長
オチアイ ヒロカズ 落合 浩一	学校教育関係者 （県立学校長会議平塚秦野地区会）	
クリキ ユウゴウ 栗木 雄剛	学校教育関係者 （平塚市立中学校長会）	
ミヤザワ タツヒロ 宮澤 達寛	学校教育関係者 （平塚市立小学校長会）	
カトウ ヒロシ 加藤 宏	社会教育関係者 （平塚美術家協会）	
ゴトウ マユミ 後藤 真由美	社会教育関係者 （公益財団法人平塚市まちづくり財団）	
イワキ タカコ 岩城 孝子	家庭教育の向上に資する活動を行う者 （市民公募委員）	

平成 28 年度　第２回協議会資料　目次

平成 28 年度　事業報告 1

Ⅰ 作品 1

（1）収集 1

寄贈作品 1

寄託作品 2

（2）展示 2

（3）貸出 3

Ⅱ 展覧会 4

平成２８年度　展覧会 4

（1）企画展　アーティスト　in　湘南Ⅰ　　萬鉄五郎×岸田劉生　その仲間たち 4

（2）企画展　北海道立近代美術館所蔵名品展　華麗なるガラス工芸の世界 5

（3）企画展　不思議なアート　トリック　トリック　ハッ！とトリック 6

（4）企画展　アーティスト　in　湘南Ⅱ　　田澤茂と石井礼子 7

（5）企画展　香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治 8

（6）企画展　アーティスト　in　湘南Ⅲ　創画会ゆかりの画家たち 9

（7）特集展　ロビー展　黒川弘毅の彫刻 10

（8）特集展　冬の所蔵品展　私のくらしを彩る絵 11

（9）特集展　東京都現代美術館コレクション　近代日本画名品展 12

Ⅲ 教育普及 13

Ⅳ その他の事業 20

（1）　事業 20

（2）　団体向け研修･体験プログラム 22

（3）　実習および職場体験受け入れ 23

（4）　定例会議 23

（5）　その他 23

Ⅴ 施設利用者等の統計 24

（1）　展覧会 24

（2）　貸出施設 24

Ⅵ　施設の管理 26

（1）　防災訓練 26

平成２９年度　上半期事業案 27

Ⅰ 展覧会 27
（１）企画展　リアル(写実)のゆくえ　高橋由一、岸田劉生、そして現代につなぐもの 27
（２）企画展　斎藤文夫コレクション　浮世絵　神奈川名所めぐり 28
（３）企画展　ブラティスラヴァ世界絵本原画展　絵本の５０年　これまでとこれから 29
（４）特集展　夏の所蔵品展 - 山の絵 31

Ⅱ 教育普及 32

平成 28 年度　事業報告

Ⅰ 作品

（1）収集

寄贈作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法	技法材料
1	大沢昌助	スタートライン	1964 年	131.0×194.5	油彩・キャンバス
2	大沢昌助	紫の座像	1973 年	101.0×80.5	油彩・キャンバス
3	大沢昌助	裸婦	1973 年	68.2×53.0	リトグラフ・紙
4	大沢昌助	顔	1973 年	63.0×50.5	リトグラフ・紙
5	大沢昌助	そよかぜ	1991 年	41.9×32.6	シルクスクリーン・紙
6	大沢昌助	ながれ	1991 年	41.9×32.6	シルクスクリーン・紙
7	大沢昌助	ゆらぎ	1991 年	32.6×41.9	シルクスクリーン・紙
8	大沢昌助	早い朝	1991 年	32.6×41.9	シルクスクリーン・紙
9	大沢昌助	つどい	1994 年	32.6×41.9	銅版・紙
10	倉橋利明	Wibble Wobble 2016 -Irregular-scene1	2016 年	178.0×86.0	赤麻紙、白麻紙、WT紙、アクリル、墨、彩三水
11	佐藤泰生	午後の女達	1983 年	162.0×130.3	油彩・キャンバス
12	佐藤泰生	旭日 富士と波涛	2013 年	194.0×112.0	油彩・キャンバス
13	田澤茂	仮面童子	1983 年	131.0×163.0	油彩・キャンバス
14	田澤茂	百鬼夜行	1998 年	194.0×162.0	油彩・キャンバス
15	田澤茂	日本人の神々	2013 年	163.0×131.0	油彩・キャンバス
16	平澤重信	時の待ち合わせ場所	2005 年	162.0×130.3	油彩・キャンバス
17	平澤重信	時の間	2006 年	162.0×130.3	油彩・キャンバス
18	平澤重信	時の苑	2007 年	162.0×130.3	油彩・キャンバス
19	福田美蘭	水墨山水	1994 年	183.0×60.0	墨・絹
20	福田美蘭	旭日静波	1994 年	196.0×59.0	彩色・絹
21	福田美蘭	遊鯉	1994 年	190.0×60.0	彩色・絹
22	福田美蘭	絵画の洗浄	1994 年	113.0×102.0	油彩、アクリル絵具・キャンバス
23	福田美蘭	聖ゲオルギウス	2010 年	227.2×181.8	アクリル絵具・キャンバス
24	福田美蘭	紅白芙蓉図	2012 年	181.8×227.2	アクリル絵具・キャンバス
25	福田美蘭	見返り美人　鏡面群像図	2016 年	181.8×227.2	アクリル絵具、キャンバス
26	藤山ハン	ポスト考	1979 年	77.0×107.5	油彩、鉛筆・板に紙
27	藤山ハン	雷に打たれし裸木	2015 年	103.0×69.5	柿渋、墨、油彩・布に紙
28	前田哲明	Untitled14-M10	2014 年	16.5×26.0×51.5	鉄
29	前田哲明	Untitled14-M11	2014 年	15.0×30.5×57.0	鉄
30	前田哲明	Untitled 05-MA	2005 年	23.0×26.0×37.0	ステンレス
31	前田哲明	Untitled14LD-a5	2014 年	55.3×75.1	リトグラフ・紙
32	前田哲明	Untitled14LD-e3	2014 年	75.1×55.3	リトグラフ・紙
33	前田哲明	Untitled14LD-fl	2014 年	55.3×150.2	リトグラフ・紙
	計 33 点				

寄託作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法	技法材料
1	工藤甲人	華園天色	2002 年頃	52.7×71.5	彩色・紙
2	高村光太郎	静物－瓶とコップ	1914 年	32.3×22.8	油彩・板
3	永瀬義郎	裸婦	1922 年	30.3×26.5	木版・紙
4	秦テルヲ	双鶏	不詳	129.0×29.0	彩色・紙
5	秦テルヲ	木	1929 年頃	32.8×23.0	彩色・紙
6	安田靫彦	萬葉秀歌	1968 年頃	60.0×14.7	墨・紙
7	萬鉄五郎	不詳	不詳	33.2×23.5	墨・紙
8	木村荘八	くもり日の新緑	1915 年	50.0×60.6	油彩・キャンバス
	計 8 点				

（2）展示

当館展覧会において下表のとおり作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵･寄託	うち借用
1	企画展	アーティスト　in　湘南Ⅰ 萬鉄五郎×岸田劉生　その仲間たち	74 点	53 点	21 点
2	企画展	開館２５周年記念 北海道立近代美術館所蔵名品展 華麗なるガラス工芸の世界 －ヴェネツィアから現代まで	122 点	0 点	122 点
3	企画展	開館２５周年記念 不思議なアート トリック トリック ハッ！と トリック	83 点	1 点	82 点
4	企画展	アーティスト　in　湘南Ⅱ 田澤茂と石井礼子	58 点	5 点	53 点
5	企画展	開館２５周年記念 香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治	194 点	0 点	194 点
6	企画展	アーティスト　in　湘南Ⅲ 創画会ゆかりの画家たち	40 点	31 点	9 点
7	ロビー展	黒川弘毅の彫刻	32 点	2 点	30 点
8	特集展	私のくらしを彩る絵	57 点	57 点	0 点
9	特集展	東京都現代美術館コレクション 近代日本画名品展	32 点	0 点	32 点
計			**692 点**	**149 点**	**543 点**

（3）貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表の通り作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	柏市民ギャラリー	「摘水軒記念文化振興財団所蔵作品展」 5月14日～6月16日	1	岡本秋暉「波に鯉鳥図」（寄託作品）
2	秋田県立美術館	「異界をひらく ー百鬼夜行と現代アートー」 7月16日～9月4日	6	石田徹也「不安な夢」「囚人」「起床」「深海魚」「転移」、 三瀬夏之介「空虚五度」（寄託作品）
3	群馬県立館林美術館、 静岡県立美術館、 三重県立美術館	「再発見！ニッポンの立体」 7月16日～9月19日、 11月15日～2017年1月9日、 1月24日～4月9日	5	平櫛田中「灰袋子」、 横田七郎「めざし」「静物」「栗」「栗」
4	白山市立松任中川一政記念美術館	「没後25年中川一政展」 9月10日～11月27日	3	中川一政「椅子の少女」「椅子の女」「薔薇」
5	練馬区立美術館	「朝井閑右衛門展」 9月18日～11月13日	2	朝井閑右衛門「廃園に於て」 「悪霊と道化」
6	佐野美術館	「横山大観 大気を描く」 10月1日～11月6日	1	横山大観「不盡之高嶺」
7	鳥取県立博物館、 埼玉県立近代美術館、 高知県立美術館	「日本におけるキュビズム ーピカソ・インパクト」 10月1日～11月13日、 11月23日～2017年1月29日、 2月12日～3月26日	1	井上三綱「駆けだした牛」
8	飯田市美術博物館、 福井県立美術館、 弥彦村コミュニティーセンター、 東京都美術館、 京都市美術館別館、 松坂屋美術館、 秋野不矩美術館	「創画会70周年記念展」 2017年3月18日～5月7日、 5月10日～5月24日、 6月3日～7月9日、 7月22日～8月27日、 10月24日～10月30日、 11月7日～11月12日、 12月6日～12月17日、 2018年1月20日～3月25日	2	工藤甲人「残蝶」「海のおとしご」 （寄託作品）
計			21点	

Ⅱ 展覧会

平成２８年度　展覧会

（1）企画展　アーティスト　in　湘南Ⅰ　　萬鉄五郎×岸田劉生　その仲間たち

種　別	企画展
会　期	4月16日(土)～6月12日(日)
主　催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	50日
観覧者数	7,409人
担　当	安部沙耶香(当館学芸員)

●内容

日本の近代美術を語るうえで欠かすことのできない萬鉄五郎と岸田劉生にスポットを当てます。この二人と、彼らに影響を受け、ともに活動を続けた画家たちをご紹介しました。

湘南地方は明治期に別荘地や療養地として知られ、独特の文化が生まれました。大正期に萬や劉生が転地療養のためやってくると、彼らを慕う画家たちも集うようになります。本展では、「序章」としてフュウザン会までの萬と劉生を取り上げました。そして、「岸田劉生とその仲間たち」では、草土社の仲間である木村荘八、中川一政、河野通勢、椿貞雄、「萬鉄五郎とその仲間たち」では、藤沢中学校(現・藤嶺学園藤沢高等学校)の同窓生である鳥海青児、森田勝、原精一を取り上げました。彼らの作品を通して、大正期から戦前までの湘南の地で生まれた日本近代洋画の展開を検証するものです。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク
日時：5 月 14 日(土)、6 月 11 日(土)　各回 11:00～11:30
参加者数：5 月 14 日(土)20 人、6 月 11 日(日)35 人
場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

（2）企画展　北海道立近代美術館所蔵名品展　華麗なるガラス工芸の世界

－ヴェネツィアから現代まで

種　別	企画展
会　期	4月23日(土)～6月19日(日)
主　催	平塚市美術館
特別協力	北海道立近代美術館
協　賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	7,436人
担　当	江口恒明(当館学芸員)

●内容

ガラス制作の発祥は、4 千年前とも 5 千年前ともいわれます。その輝きと豊かな色彩は、洋の東西を問わず人々を魅了し、建築装飾や生活の器として用いられてきました。とりわけヨーロッパにおいては、15 世紀のヴェネツィアで、それまでとは比較にならない透明度の高いガラスの器が制作されました。

その後、19 世紀後半のフランスで、エミール・ガレが登場し、ガラス造形に全く新しい地平が切りひらかれました。ガレは 19 世紀末に流行した芸術運動であるアール・ヌーヴォーを代表する芸術家であり、当時の制作技術の粋をつくして、自然をモチーフとした曲線的な表現による装飾芸術をつくりあげました。20 世紀前半には工業化社会の進展を反映して、幾何学的・直線的文様を特徴とするアール・デコ様式の作品があらわれます。時を同じくして、芸術家意識が高まりはじめ、従来の工房制作から個人によるガラス芸術も発展していきます。

産業から芸術へ、工房から作家による制作へとしだいに変化していったガラス芸術は、現在、造形作品としての要素やガラスの素材そのものへの関心を強めつつ、多様化しています。本展では、近代ヨーロッパの作品を中心に、日本人作家の作品も含め、北海道立近代美術館所蔵の約 120 点の名品を通じて、何千年にわたって受け継がれてきた伝統とさまざまな表現をご紹介しました。

●関連事業

○北海道立近代美術館学芸員によるギャラリートーク
日時：4 月 23 日(土) 11:00～11:40
講師：森本陽香氏
参加者数：20 人
場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

○学芸員によるギャラリートーク
日時：5 月 14 日(土)、6 月 5 日(日)　各回 14:00～14:40
参加者数：5 月 14 日　20 人、6 月 5 日　25 人
場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

○ワークショップ「型ガラスでオブジェをつくろう」
日時：5 月 28 日(土)、6 月 11 日(土) 2 回連続講座、各回 13:30～16:30
講師：大谷佳子氏(ガラス作家)
参加人数：18 人
場所：アトリエ　※要申込

（3）企画展　不思議なアート　トリック　トリック　ハッ！と トリック

種　別	企画展
会　期	7月2日(土)～8月28日(日)
主　催	平塚市美術館
特別協力	高松市美術館
協　力	株式会社ＤＮＰアートコミュニケーションズ
協　賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30) ※7月16日（土）～8月28日（日）は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日　※7月18日（月・祝）は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	30,756人
担　当	家田奈穂(当館学芸員)

●内容

人は五感の中でもとかく視覚に頼りがちですが、私たちの「目」は、実はとてもだまされやすいものです。遠近の関係性や上下左右を見間違えたり、目の前にあるのに見落としたり、逆にあるはずだと思い込んでいるためにそこにないものが見えたりと、私たちは日常的にさまざまな錯覚にとらわれています。このことに着目した作家たちは、さまざまな工夫を凝らして見る者をあざむき、楽しませる作品を作ってきました。

本展では、視覚と固定化されたイメージに揺さぶりをかける戦後の美術家たちの工夫に満ちた取り組みを「トリック」として紹介しました。人の目を惑わす手法は多岐にわたりますが、ここでは「Ⅰ　虚と実をめぐって」「Ⅱ　古典絵画への仕掛け」「Ⅲ　オプ・イリュージョン」「Ⅳ　リアリズムの諸相」という4つのキーワードにより展覧会を構成しています。美術家たちが仕掛けるさまざまなトリックをとおして、「見る」ということの不思議さとだまされる楽しさを体感していただきました。

●関連事業

○松本かなこ氏（ストリートペインター）による公開制作
　期間：7 月 17、18 日、20～23 日、27 日
　時間：10：00～16：00
　場所：美術館テーマホール

○ワークショップ
　①「チョークで道に海の生きものを描こう!!　」
　　日時：7 月 29 日（金）13:00～16:00
　　講師：松本かなこ氏（ストリートペインター）
　　参加者数：207 人
　　場所：美術館レストラン側入口
　　対象：自由参加
　　参加費：100 円

②「ジェルキャンドルにお魚を描こう!!」
日時：7 月 31 日（日）13:30～16:30
講師：深堀隆介氏（美術作家）
参加者数：22 人
場所：美術館アトリエ
対象：小中学生（小学校 1、2 年生は保護者同伴）
参加費：800 円

○学芸員によるギャラリートーク
日時：7 月 10 日（日）、8 月 7 日（日）14：00～14：40
参加者数：7 月 10 日　35 人、8 月 7 日　55 人
場所：展示室Ⅰ　※申込不要、要観覧券

（4）企画展　アーティスト　in　湘南Ⅱ　　田澤茂と石井礼子

種　別	企画展
会　期	7月2(土)～9月4日(日)
主　催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)） ※7月16日（土）～8月28日（日）は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日　※7月18日（月・祝）は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	56日
観覧者数	25,472人
担　当	江口恒明(当館学芸員)

●内容
湘南のアーティストを顕彰する企画展。藤沢市辻堂で長く制作した油彩画家・田澤茂（1925-2014）の画業と、田澤が主催した絵画教室で学び、藤沢で制作を続ける石井礼子（1974-）の師弟の作品を紹介しました。
青森県に生まれた田澤茂は、1948 年に上京して辻堂に住み、制作を続けました。1953 年には猪熊弦一郎に師事して新制作協会展に初入選し、以後、新制作協会展や個展を中心に活動します。故郷の風土に根ざし、神々や妖怪を描いたユーモアと生命力あふれる作風で知られています。
石井礼子は藤沢市に生まれ、9 歳から田澤茂の絵画教室に通いはじめました。1993 年に女子美術大学に入学。在学中から新制作協会展に入選し、2004 年には同会の会員となり、出品を続けています。石井の作品は、和紙に割り箸と墨を用いて、身の回りの出来事を題材に私的な風景を描き出しています。
いずれも、自身の生活や体験から出発して、身体でとらえた感覚を手放さず、柔軟な発想で制作する点が通底しているように思われます。ふたりの作風は大きく異なりますが、師弟の自由闊達な作品をお楽しみいただきました。

●関連事業
○学芸員によるギャラリートーク
日時：7 月 9 日(土)、8 月 6 日(土)　14：00～14：40
参加者数：7 月 9 日　12 人、8 月 6 日　25 人
場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

（5）企画展　香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治

―シベリアシリーズ・原爆の図・地図―

種　別	企画展
会　期	9月17日(土)～11月20日(日)
主　催	平塚市美術館・日本経済新聞社
特別協力	東京国立近代美術館・山口県立美術館・原爆の図丸木美術館
助　成	芸術文化振興基金
協　賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日　※9月19日、10月10日は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	56日
観覧者数	10,843人
担　当	土方明司(館長代理)、勝山滋(当館学芸員)

●内容

開館 25 周年を記念し、香月泰男と丸木位里・俊、川田喜久治の三つの連作による展覧会を開催いたしました。香月泰男(1911～1974)は山口県生まれの洋画家です。国画会同人としての活躍をへて応召、終戦後シベリアに抑留された経験をもとにした<シベリア・シリーズ>に独自の画風を築きました。

丸木位里(1901～1995)は広島県に生まれ、青龍社展初入選後、美術文化協会に参加。1939 年に赤松俊子(1912～2000)と結婚し、妻とともに広島原爆投下の惨状を取材し、ライフワークとなった<原爆の図>を制作しました。

川田喜久治(1933～)は茨城県土浦市に生まれ、高校時代から写真を撮り始め、土門拳が選者であった『カメラ』に応募、入賞ののち新潮社でグラビアやポートレート撮影担当をへて、フリーランスとして写真エージェンシー「ＶＩＶＯ」を結成。心理的、象徴的な喚起力を重視した表現による「地図」連作を発表。写真を通して「戦争」や「人間」を探り出していく試みが高く評価され、世界的な写真家として活躍しています。洋画、日本画、写真という異なる手法によって表現された、三様の戦争に対するまなざしをご堪能いただきました。

●関連事業

○講演会
日時：10 月 10 日(月・祝)14:00～15:00
講師：小栗康平氏（映画監督）
参加者数：91 人
場所：ミュージアムホール　※申込不要

○映画「FOUJITA」上映
日時：10 月 15 日(土)10:00～12：00、13:30～15：30
参加者数：173 人
場所：ミュージアムホール　※要申込

○対談「写真家・川田喜久治氏に聞く」
日時：10 月 29 日(土)14:00～15:30
参加者数：117 人
場所：ミュージアムホール　※申込不要

○学芸員によるギャラリートーク
日時：9 月 24 日(土)、10 月 8 日(土)、11 月 5 日(土)14:00～15:00
参加者数：9 月 24 日　20 人、10 月 8 日　40 人、11 月 5 日　40 人
場所：展示室Ⅱ　※申込不要、要観覧券

○関連ＤＶＤ放映：「WATCH　原爆の図とアメリカ」
場所：美術館ミュージアムホール

（6）企画展　アーティスト　in　湘南Ⅲ　創画会ゆかりの画家たち

種　別	企画展
会　期	9月24日(土)～11月27日(日)
主　催	平塚市美術館
助　成	公益財団法人三菱ＵＦＪ信託地域文化財団
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)）
休館日	月曜日　※10月10日（月・祝）は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	56日
観覧者数	9,135人
担　当	家田奈穂(当館学芸員)

●内容

湘南地域は、温暖な気候や交通の利便性により近代以降多くの芸術家が移り住みました。戦後は山本丘人や工藤甲人ら創画会の中心的な画家が居を構え、旺盛な制作活動を展開します。

創画会のルーツは、戦後まもない 1948 年にさかのぼります。敗戦により既存の美的価値観が揺らぐ中で、日本画存亡の危機感を背景に東京と京都の若手の画家たちによって組織されたのが在野の美術団体・創造美術でした。西洋の近代、同時代美術を参照しながら新しい日本画の創出を目指した同団体は、新制作協会日本画部を経て、1974 年に創画会へと体制を変更しながらも、一貫して在野の立場を保ちつつ日本画の新傾向をリードして、その存在感を示しています。

湘南の創画会ゆかりの画家として本展で取り上げるのは、創造美術設立時からの中心作家・山本丘人（1900-1986）、第二世代の工藤甲人（1915-2011）、堀文子（1918 生）、近藤弘明（1924-2015）、加山又造（1927-2004）、第三世代の伊藤彬（1940 生）、中野嘉之（1946 生）、内田あぐり（1949 生）、山本直彰（1950 生）のほか、第四世代の斉藤典彦（1957 生）です。

現在活躍中の画家たちは、既に創画会を退会し、各自の道を歩んでいますが、その進取果敢な制作は、創画会の日本画革新の精神を受け継いでいます。

本展では、創設以来約 70 年にわたり日本画を牽引してきた湘南ゆかりの創画会 10 人の画家たちの作品約 40 点により、時代のうつろいとともに変化し続ける日本画のありようをご紹介しました。

●関連事業

○アーティストトーク
日時：10 月 1 日（土）　14:00～15:00
講師：山本直彰氏（武蔵野美術大学特任教授）
参加者数：30 人
場所：展示室Ⅰ　※申込不要、要観覧券

日時：11 月 12 日（土）14:00～15:00
講師：斉藤典彦氏（東京芸術大学教授）
参加者数：40 人
場所：展示室Ⅰ　※申込不要、要観覧券

日時：11 月 20 日（日）14:00～15:00
講師：内田あぐり氏（武蔵野美術大学教授）
参加者数：55 人
場所：展示室Ⅰ　※申込不要、要観覧券

○学芸員によるギャラリートーク
日時：10 月 22 日（土）、11 月 19 日（土）各 14：00～14：40
参加者数：10 月 22 日　16 人、11 月 19 日　30 人
場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

（7）特集展　ロビー展　黒川弘毅の彫刻

種　別	特集展
会　期	12月3日(土)～2017年4月9日(日)
主　催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休館日	月曜日　※1月9日(月・祝)、3月20日(月・祝)は開館、翌火曜日休館。 年末年始(12/29～1/3)
観覧料	無料
開催日数	105日
担　当	勝山滋(当館学芸員)

●内容
彫刻家、黒川弘毅(くろかわひろたけ)の《ＥＲＯＳ》（エロース）シリーズのブロンズ作品群によるロビー展を開催中です。黒川弘毅は 1952 年東京生まれ。東京造形大学彫刻専攻をへて、1980 年以降個展などを中心に発表し、1991 年文化庁在外派遣研修員としてイタリアに滞在。現在東京で活躍しています。
人体のようなかたちを表す作品は、人影の輪郭をなぞって鋳型の砂を掘り、そこにブロンズを流し込んで鋳造することで作られます。あらかじめ作った原型を複製する鋳造方法でなく、金属の量塊がメディウムとなって人のかたちとして生成する手法が追求されています。「エロース」とは、古代ギリシャで神と人間の橋渡しをする神霊にちなんで命名されたもので、新たなものとして常に見出されるべき美の姿を象徴しています。これまでに 90 点以上制作されている同シリーズのなかから 32 点を展示しています。
平塚市美術館の「ロビー展」は 2006 年 12 月にはじまり、今回で 10 回目となります。外光の降り注ぐ高さ 11 メートルの空間を舞台に、冬季実質 100 日以上の会期となる観覧無料の展示となります。

●関連事業
○作家によるギャラリートーク
日時：12 月 4 日(日)　11:00～11:30、3 月 5 日(日)　14:00～14:30
参加者数：12 月 4 日　16 人、3 月 5 日　21 人
場所：テーマホール　※申込不要

○ワークショップ「ロストワックス鋳造で作品を作ろう!!」
日時：3月4日(土)　10:30～16:30
参加者数：16人
場所：アトリエB

（8）特集展　冬の所蔵品展　私のくらしを彩る絵

種　別	特集展
会　期	12月10日(土)～2017年1月29日(日)
主　催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30))
休館日	月曜日　※1月9日(月・祝)は開館、翌火曜日休館。年末年始(12/29～1/3)
観覧料	一般200円､高大生100円
開催日数	39日
観覧者数	2,296人
担　当	江口恒明(当館学芸員)

●内容
　近代以降、絵画に対するさまざまな考え方が生まれ、必ずしも現実の再現性に重きをおかない、抽象的な表現や夢の中を描く表現もあらわれました。とりわけ、日本においては、従来の画材とは全く異なる油絵が明治以降本格的に流入し、描く方法も対象も大きく変化したといえます。
　その一方、芸術家が目を向けるものの中には、なじみの風景や日常の出来事、身の回りの小さな発見など、古今変わることなく選ばれ続けてきた対象もあります。冬の所蔵品展では、画家が日々のくらしの中の出来事から描き起こした作品を紹介します。それは、画家の住むすぐそばの景色や心象の風景であり、身近な人物あるいは家の中のものをじっと見つめて描いたものなどです。
　1920～30 年代の戦前の作品では、社会の近代化にともない、人々のあこがれとなった都市の生活が多数描かれました。その後、現代に近づくほど、より個人的な体験として描かれるようになります。
　いずれも、ありふれた日常を手掛かりにしながら、鋭い感性があらわれているように思われます。思いもよらない世界の広がりを画面に定着させた作品をご鑑賞ください。
　また、これに加えて、2015 年に新たに収蔵された作品を展示するコーナーを設けて紹介しました。

●関連事業
○学芸員によるギャラリートーク
日時：2017年1月21日(土)　14:00～14:30
参加者数：15人
場所：展示室Ⅰ　　※申込不要、要観覧券

（9）特集展　東京都現代美術館コレクション　近代日本画名品展

種　別	特集展
会　期	2017年3月4日(土)～4月9日(日)
主　催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日　※3月20日(月・祝)は開館、翌火曜日休館。
観覧料	一般200円､高大生100円
開催日数	32日
担　当	江口恒明(当館学芸員)

●内容

東京都現代美術館は、国内外のさまざまな現代美術の展覧会を開催し、4000 点余の作品を所蔵する日本有数の美術館です。同館のコレクションには、現代の美術以外にも、戦前戦後の日本美術を代表する作品も多数含まれています。本展では、東京都現代美術館の所蔵作品のうち、近代から現代に至る日本画の名品を紹介いたします。

明治大正期から戦前の日本画壇には、岡倉天心が主導して 1898 年に結成された日本美術院（院展）と、1907 年に開設された文部省美術展覧会（文展）のふたつの大きな団体がありました。

大正・昭和初期になると、これに対抗する形で新しい表現を模索する画家たちが登場します。1918 年、京都において土田麦僊・村上華岳らが国画創作協会を結成しました。また、東京では、1928 年に院展を脱退した川端龍子が「健剛なる芸術」を唱えて青龍社をつくり、その中から落合朗風・横山操ら異色の作家が生まれました。また、第二次世界大戦が終わると、パンリアルや創造美術など、従来の伝統的な表現によらない革新的な日本画をめざす運動があらわれました。

近代の日本画は、長い伝統の中にあって、常に革新的な表現を模索してきました。本展では、東京都現代美術館のコレクションを通じて、そうした日本画表現の革新と創造の一端をご覧いただきます。ふだん目に触れる機会の少ない、同館の近代日本画コレクションをお楽しみいただければ幸いです。

●関連事業

○絵を見て発見！春のおしゃべり美術館
対話による美術鑑賞ボランティア「ひらビあーつま～れ」のメンバーと一緒におしゃべりをしながら作品を鑑賞します。
日時：毎週火曜日、集合 11:00～解散 12:00
場所：展示室 1 前にお集まりください。
対象：6 才～一般（※高校生以上は要観覧券）

○親子鑑賞サポートタイム
親子で作品を鑑賞する際のポイントについてレクチャーを受け、実際に展示室で展覧会を鑑賞します。
日時：3 月 10 日（金）　集合 10:00　（1 時間程度を予定）
場所：展示室Ⅰ、ミュージアムホール
対象：未就学児とその保護者（※保護者は要観覧券）

○学芸員によるギャラリートーク
日時：3 月 19 日(日)　14:00～14:40
場所：展示室Ⅰ　　※申込不要、要観覧券

Ⅲ 教育普及

平成28年度実施プログラム

33プログラムを実施。1,493名

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、久保田知美（当館嘱託員）、品川ちひろ(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
1	体験アートセラピー 親子でパステルアート 笑顔のカードを作ろう	福山恵美子（アートセラピスト）	4月9日（土）	200円	親子（小・中学生）	9組19人
2	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 春(連続講座)	冨田めぐみ（NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事）	4月14日(木) 5月12日(木) 6月9日（木）	500円	親子（1.0～2.3才の未就園児）	25組50人
3	チョークで道にお花を咲かせよう!!	松本かなこ（ストリートペインター）	4月23日(土)	1000円	小学生	13人
4	バックヤードツアー ～美術館の地震対策を考える～	当館学芸員(勝山滋)	5月7日(土)	なし	一般	14人
5	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう 一般の部	滝波重人、河野孝博（東海大学教授）、岡端美香（東海大学大学院生）	6月4日(土)	500円	18才～一般	18人
6	型ガラスでオブジェを作ろう!! (連続講座)	大谷佳子（ガラス作家）	5月28日（土） 6月11日(土)	2000円	中学生～一般	18人
7	おうちの窓を天の川にしよう！ 星とカササギの七夕モビール作り (連続講座)	依田梓（美術作家）	6月25日（土）	500円	親子（小･中学生）	9組17人
8	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 夏(連続講座)	冨田めぐみ（NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事）	7月7日(木) 8月4日(木) 9月8日(木)	500円	親子（1.0～2.3才の未就園児）	25組49人
9	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ～お魚塗り絵で遊ぼう～	福山恵美子(アートセラピスト)	7月9日(土)	200円	親子（小･中学生）	10組20人
10	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士6名	7月23日(土)	なし	親子(0～6才の未就園児)	85組174人
11	チョークで道に海の生き物を描こう!!	松本かなこ（ストリートペインター）	7月29日（金）	100円	3才～一般	207人
12	ジェルキャンドルにお魚を描こう!!	深堀隆介（金魚絵師）	7月31日（日）	800円	小・中学生	22人
13	中高生ボランティアと工作をしよう！ 缶バッジ･プラバン作りワークショップ	中学生高校生ボランティア 20名	8月5日（金） 8月6日（土） 8月7日（日）	50円	3才～一般	450人

NO.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
14	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士 7 名	8 月 20 日（土）	なし	親子 (0～6 才の未就園児)	65 組 123 人
15	元気にのびのび キッズアート (連続講座)	冨田めぐみ (NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会 代表理事)	10 月 6 日(木) 11 月 10 日(木) 12 月 1 日(木)	500 円	親子 (2.6～4 才の保育園・幼稚園に通っていないお子さんと保護者)	27 組 53 人
16	体験アートセラピー ～塗り絵で リフレッシュ！～	福山恵美子 (アートセラピスト)	10 月 8 日(土)	200 円	中学生～一般	13 人
17	東海大学協働事業 東海大学のお姉さんと遊ぼう！ スタンプ･ポンポン！ クイズでワイワイ！	東海大学インターン生	10 月 16 日(日)	100 円	親子(小学生)	6 組 9 人
18	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を 描いてみよう 中学・高校生の部	仙谷先生、吉村先生 (東海大学芸術学科 の先生)	10 月 23 日(日)	なし	中・高校生	10 人
19	子どもの油絵教室	山中まんぼう (アーティスト)	11 月 12 日(土)	1500 円	小・中学生	18 人
20	みんなの光る どろだんご	岩月真由子(土の美術家)	11 月 19 日(土)	1000 円	小・中学生	午前：16 人 午後：4 人
21	子ども向け バックヤードツアー	当館学芸員(江口恒明)	11 月 26 日(土)	なし	親子 (小・中学生)	11 人
22	銅版画講座 メゾチントでつくる クリスマスカード (連続講座)	城戸宏(版画工房主宰)	12 月 4 日(日)	2100 円	一般	5 人
23	キッズ鑑賞ツアー　冬	冨田めぐみ (NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会 代表理事)	1 月 7 日(土)	なし	親子 (0 才～未就園児)	9 組 18 人
24	遊んでのびのび 赤ちゃんアート　冬 (連続講座)	冨田めぐみ (NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会 代表理事)	1 月 12 日(木) 2 月 2 日(木) 3 月 2 日(木)	500 円	親子 (1.0～2.3 才)	28 組 55 人
25	0 才からの鑑賞ツアー	冨田めぐみ (NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会 代表理事)	1 月 13 日(金)	なし	親子 (0～2.0 才)	15 組 32 人

NO.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
26	銅版画講座 エッチング&アクアチントに挑戦！！ (連続講座)	城戸宏(版画工房主宰)	1月15日(日) 1月29日(日)	1300円	中学生～一般	13人
27	陶芸講座	尾形隆昭(陶芸家)	2月5日（日) 2月19日（日) 3月12日（日)	1000円	中学生～一般	20人
28	ロビー展事業 ロストワックス鋳造で作品を作ろう‼	黒川弘毅(彫刻家)	3月4日(土)	2500円	高校生～一般	9人
29	キルンキャストで ガラスのオブジェを作ろう！！(連続講座)	大谷佳子(ガラス作家)	3月11日(土) 3月18日（土)	3000円	中学生～一般	13人
30	0才からの鑑賞ツアー	冨田めぐみ (NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	3月12日(日)	なし	親子 (0～2.0才)	―
31	キッズ鑑賞ツアー	冨田めぐみ (NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	3月16日(木)	なし	親子 (0才～未就園児)	―
32	体験アートセラピー 優しいパステルを使ってお腹の赤ちゃんと一緒に絵を描きましょう	福山恵美子 (アートセラピスト)	3月25日(土)	200円	現在ご妊娠中の方	―
33	東海大学インターンシップ生によるワークショップ 「レジンでアートをとじこめよう」	東海大学芸術学科 インターン生	3月26日(日)	100円	親子 (小学生)	―

●スクールプログラム

13 プログラムを実施。297 名。
担当：安部沙耶香(当館学芸員)、久保田知美（当館嘱託員）、品川ちひろ(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
1	先生のための美術鑑賞広場 ～華麗なるガラス工芸の 世界～	当館学芸員	5 月 8 日（日）	なし	小・中・高・特別支援学校の教職員	3 人
2	伊勢原市小学校教育研究会 図工部会研修	当館学芸員	7 月 28 日(木)	なし	伊勢原市小学校教育研究会 図工部会の教員	15 人
3	先生のための美術館賞広場 ～トリック・トリック・ ハッ!と　トリック展～	当館学芸員	8 月 2 日(火)	なし	小・中・高・特別支援学校の教職員	7 人
4	採用 5 年、10 年経験者研修の受け入れ	当館学芸員	8 月 2 日(火) ～7 日（日）	なし	小・中・高校・特別支援学校の教員	6 人
5	平塚市小学校教育研究会 図工部会研修	当館学芸員	8 月 3 日(水)	なし	平塚市小学校 教育研究会 図工部会の教員	34 人
6	中高校生ボランティアと一緒に工作をしよう！ 缶バッジブラバン作りワークショップ・プレ	当館学芸員	8 月 3 日（水）	なし	ボランティア 参加希望者	13 人
7	先生向け体験ワークショップ からくり屏風作り	清水達也、 小林喜代美 （表装文化伝承支援協会理事）	8 月 24 日(水)	2000 円	小･中･高・特別支援学校の教職員	12 人
8	大住中学校区三校交流研修会	当館学芸員	8 月 25 日(木)	材料持参	岡崎小、城島小、 大住中学校教員	47 人
9	城島小学校　団体来館	当館嘱託員	9 月 9 日（金）	なし	5 年生 1 クラスの 児童と引率教員	35 人
10	平塚市適応指導教室	当館学芸員	11 月 2 日(水)	材料持参	平塚市適応指導教室の児童と 引率教員	17 人
11	ワンポイント研修	当館嘱託員	1 月 5 日（木）	なし	平塚市及び近隣の市町村の幼・ 小・中学校の教員	23 人
12	横浜市緑園東小学校 団体来館	当館嘱託員	1 月 18 日(水)	なし	5 年生 2 クラスの 児童と引率教員	72 人
13	伊勢原市適応指導教室	当館嘱託員	2 月 3 日（金）	材料持参	伊勢原市適応指導教室の児童と 引率教員	13 人

●アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学校向け教材として無料貸出を行っています。

貸出先	1件(小学校1件)
貸出学校所在地域	伊勢原市　1件
貸出個数	12 個

●対話による美術鑑賞事業（ボランティア育成）

市内小学校で実施する「対話による美術鑑賞」事業の為、ボランティア育成のための研修を実施しました。
24 講座実施。
担当：勝山滋（当館学芸員）、江口恒明（当館学芸員）、久保田知美（当館嘱託員）

NO.	研修名	講師名	開催日	参加人数
1	1期生　実践研修　1回目	当館嘱託員	4月7日（木）	9人
2	1期生　実践研修　2回目	三ツ木紀英（ＡＲＤＡ）	4月21日（木）	10人
3	1期生　実践研修　3回目	当館嘱託員	5月19日（木）	8人
4	鑑賞＆トーク　体験会	桑原和美（ARDA） アートシャベル1名	5月21日（土）	12人
5	1期生　実践研修　4回目	三ツ木紀英（ＡＲＤＡ）	5月26日(木)	12人
6	鑑賞＆トーク　体験会	桑原和美（ARDA） アートシャベル1名	6月3日（金）	14人
7	1期生　実践研修　5回目	三ツ木紀英（ARDA）	6月23日（木）	9人
8	ひらビあ～つまーれ2期生 合同面接説明会	三ツ木紀英（ARDA）	7月2日（土） 7月3日（日）	16人
9	1期生　実践研修　6回目	三ツ木紀英（ARDA）	7月14日(木)	12人
10	1期生　実践研修　7回目	三ツ木紀英（ARDA）	7月26日(火)	15人
11	1期生　実践研修　8回目	三ツ木紀英（ARDA）	9月1日（木）	7人
12	2期生　基礎研修　1回目	三ツ木紀英（ARDA）	9月3日(土)	15人
13	2期生　基礎研修　2回目	三ツ木紀英（ARDA）	9月10日（土）	15人
14	1期生　アートカード研修 1回目	桑原和美（ARDA）	9月15日(木)	7人
15	2期生　実践研修　1回目	三ツ木紀英（ARDA）	9月29日（木）	14人
16	2期生　実践研修　2回目	当館嘱託員	10月5日（水）	7人
17	2期生　実践研修　3回目	三ツ木紀英（ARDA）	10月27日（木）	11人
18	2期生　実践研修　4回目	当館嘱託員	11月11日（金）	10人
19	2期生　実践研修　5回目	三ツ木紀英（ARDA）	11月24日（木）	13人
20	1,2期生　アートカード研修 2回目	桑原和美（ARDA）	12月8日（木）	10人
21	2期生　実践研修　6回目	当館嘱託員	12月15日（木）	11人
22	2期生　実践研修　7回目	三ツ木紀英（ARDA）	1月19日（木）	7人
23	2期生　実践研修　8回目	当館嘱託員	1月26日（木）	11人
24	2期生　実践研修　9回目	三ツ木紀英（ARDA）	2月16日（木）	13人

他市小学生を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。
2 プログラム実施。178 名参加。

NO.	学校名	講師名	事前授業	来館	学年	クラス数	参加人数
1	箱根湯本小学校 仙石原小学校 箱根の森小学校	ひらビあーつま~れ 14 名		6 月 8 日(水)	5 年	1 クラス	70 人
2	横浜市 青葉台小学校 団体来館	ひらビあーつま~れ		2 月 22 日(水)	5 年	3 クラス	108 人

市内小学生を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。
6 プログラム実施。413 名参加。

NO.	学校名	講師名	事前授業	来館	学年	クラス数	参加人数
1	八幡小学校	ひらビあーつま~れ	10 月 14 日(金)	10 月 21 日(金)	5 年	2 クラス	46 人
2	土屋小学校	ひらビあーつま~れ	11 月 4 日（金）	11 月 9 日(水)	5 年	1 クラス	17 人
3	大原小学校	ひらビあーつま~れ	12 月 13 日(火)	12 月 21 日（水）	5 年	2 クラス	46 人
4	崇善小学校	ひらビあーつま~れ		11 月 17 日(木)	5 年	3 クラス	88 人
5	花水小学校	ひらビあーつま~れ	1 月 11 日（水） 1 月 17 日(火)	1 月 20 日(金) 1 月 24 日(火)	6 年	5 クラス	157 人
6	松ヶ丘小学校	ひらビあーつま~れ		2 月 15 日(水)	6 年	2 クラス	59 人

夏休みに期間限定で一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。
6 講座実施。95 名参加。

NO.	鑑賞会名	講師名	開催日	参加人数
1	絵を見て発見！ おしゃべり美術館 1 回目	三ツ木紀英（ARDA） ひらビあーつま~れ　13 名	7 月 26 日(火)	22 人
2	絵を見て発見！ おしゃべり美術館 2 回目	ひらビあーつま~れ　14 名	8 月 2 日(火)	21 人
3	絵を見て発見！ おしゃべり美術館 3 回目	ひらビあーつま~れ　9 名	8 月 9 日(火)	15 人
4	絵を見て発見！ おしゃべり美術館 4 回目	ひらビあーつま~れ　9 名	8 月 16 日（火）	15 人
5	絵を見て発見！ おしゃべり美術館 5 回目	ひらビあーつま~れ　7 名	8 月 23 日（火）	20 人
6	絵を見て発見！ おしゃべり美術館 6 回目	ひらビあーつま~れ　6 名	8 月 30 日（火）	2 人

春休みに期間限定で一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施。4講座実施予定。

NO.	鑑賞会名	講師名	開催日
1	絵を見て発見！ 春のおしゃべり美術館 1回目	ひらビあーつま~れ	3月7日(火)
2	絵を見て発見！ 春のおしゃべり美術館 2回目	ひらビあーつま~れ	3月14日(火)
3	絵を見て発見！ 春のおしゃべり美術館 3回目	ひらビあーつま~れ	3月28日(火)
4	絵を見て発見！ 春のおしゃべり美術館 4回目	ひらビあーつま~れ	4月4日（火）

Ⅳ その他の事業

（1） 事業

●七夕飾り　6月25日(土)～7月11日(月)

主催	平塚市美術館
内容	平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビールつくり」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々により飾りつけられ、来館者の目を楽しませていました。 ※展示指導 依田梓（ワークショップ講師、美術家）
場所	テーマホール
日数	17日
入場者数	自由観覧

●こども年賀状とおとな絵手紙展　1月5日（木）～1月9日（月・祝）

主催	平塚市美術館
内容	美術館を身近に感じてもらうための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、市民アートギャラリーに展示する「こども年賀状とおとな絵手紙展」を開催しました。当企画は平成２０年度の開催から数えて、今回で８回目となりました。
場所	市民アートギャラリーB室
日数	5日間
作品総数	124点
入場者数	227人

●第 39 回　平塚市展　2 月 12 日（日）～ 2 月 26 日（日）

主催	平塚市展委員会
協力	平塚市教育委員会・平塚書道協会・平塚美術家協会・平塚写真連盟
後援	平塚市・平塚市文化連盟･平塚商工会議所・ＳＣＮ湘南ケーブルネットワーク（株）・ＦＭ湘南ナパサ・（公財）平塚市まちづくり財団
場所	展示室Ｉ、市民アートギャラリー
日数	13 日
入場者数	4,969 人

●ミュージアムコンサート　2 月 18 日（土）

主催	平塚市美術館
内容	国内外で高い評価を得ている沼田園子氏（ヴァイオリン）と蓼沼明美氏（ピアノ）からなる「ファイン・デュオ」が、ヴァイオリンソナタを演奏しました。
場所	テーマホール
参加者数	198 人

（2） 団体向け研修･体験プログラム

平成 29 年 1 月 31 日現在

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
1	学習	4 月 23 日 （土）	リン版画工房	「萬鉄五郎×岸田劉生　その仲間たち展」 見学とレクチャー	18 人
2	学習	4 月 28 日 （木）	ビバヴィレッジ 湘南茅ヶ崎	「華麗なるガラス工芸の世界展」 見学とレクチャー	11 人
3	学習	5 月 19 日 （木）	平塚市立須賀公民館	「華麗なるガラス工芸の世界展」 「萬鉄五郎×岸田劉生　その仲間たち展」 見学とレクチャー	33 人
4	学習	5 月 24 日 （火）	平塚 MAC	「華麗なるガラス工芸の世界展」 「萬鉄五郎×岸田劉生　その仲間たち展」 見学とレクチャー	17 人
5	学習	5 月 26 日 （木）	平塚市立大神公民館	「華麗なるガラス工芸の世界展」 見学とレクチャー	20 人
6	学習	5 月 27 日 （金）	藤沢市六会公民館	「華麗なるガラス工芸の世界展」 見学とレクチャー	37 人
7	学習	6 月 7 日 （火）	平塚市立神田公民館	「華麗なるガラス工芸の世界展」 見学とレクチャー	10 人
8	学習	6 月 10 日 （金）	鎌倉彫白日会	「華麗なるガラス工芸の世界展」 見学とレクチャー	28 人
9	学習	6 月 12 日 （日）	学習院大学	「萬鉄五郎×岸田劉生　その仲間たち展」 見学とレクチャー	11 人
10	学習	6 月 14 日 （火）	小規模多機能型 居住介護施設はるかぜ	「華麗なるガラス工芸の世界展」 見学とレクチャー	11 人
11	学習	7 月 7 日 （木）	佐倉商工会議所女性会	「トリック トリック ハッ！と トリック展」 見学とレクチャー	29 人
12	学習	7 月 27 日 （水）	朝日ねんどの会	「トリック トリック ハッ！と トリック展」 見学とレクチャー	9 人
13	学習	7 月 28 日 （木）	伊勢原市小学校 教育研究会	「トリック トリック ハッ！と トリック展」 見学とレクチャー	15 人
14	学習	8 月 3 日 （水）	平塚市小学校 教育研究会 図画工作部会	「トリック トリック ハッ！と トリック展」 「田澤茂と石井礼子展」見学とレクチャー	34 人
15	学習	8 月 3 日 （水）	平塚市立岡崎公民館	「トリック トリック ハッ！と トリック展」 見学とレクチャー	17 人
16	学習	8 月 4 日 （木）	東ブロック公民館	「トリック トリック ハッ！と トリック展」 見学とレクチャー	88 人
17	学習	8 月 5 日 （金）	平塚市立大神公民館	「トリック トリック ハッ！と トリック展」 見学とレクチャー	21 人
18	学習	8 月 7 日 （日）	西ブロック公民館	「トリック トリック ハッ！と トリック展」 見学とレクチャー	41 人
19	学習	10 月 18 日 （火）	大神公民館	「香月泰男と丸木位里、俊そして川田喜久治展」 「創画会ゆかりの画家たち展」見学とレクチャー	12 人
20	学習	10 月 21 日 （金）	平塚市 資源回収協同組合	「香月泰男と丸木位里、俊そして川田喜久治展」 「創画会ゆかりの画家たち展」見学とレクチャー	24 人

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
21	学習	10月28日　（金）	平塚市松原婦人会	「香月泰男と丸木位里、俊そして川田喜久治展」見学とレクチャー	24人
22	学習	11月18日　（金）	東海大学文学部	「香月泰男と丸木位里、俊そして川田喜久治展」見学とレクチャー	15人
計					525人

（3）　実習および職場体験受け入れ

●博物館実習の受け入れ

当館の活動に携わることを通して、体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的に、美術を専攻する博物館学実習生を、11大学から11人を受け入れ、平成28年6月から12月まで実習を行いました。

●職場体験の受け入れ

市内の中学生、高校生等が現場で仕事を実際に体験することによって、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択につながるよう、職場体験の受け入れを行いました。

No	実施日	参加者	人数	内容
1	11月11日(金)	金目中学校	4人	館の概要講義及び業務体験
2	11月25日(金)	神明中学校	4人	館の概要講義及び業務体験
3	1月27日(金)	江陽中学校	2人	館の概要講義及び業務体験
4	2月1日(水)	大磯高校	28人	館の概要講義及び施設見学
		参加者合計	38人	

（4）　定例会議

●美術館協議会

○委員(敬称略)　8人
水沢勉(学識経験者)、河野孝博(学識経験者)、落合浩一(学校教育関係者)、栗木雄剛(学校教育関係者)、宮澤達寛(学校教育関係者)、加藤宏(社会教育関係者)、後藤真由美(社会教育関係者)、岩城孝子(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

○開催日/議題

第1回	平成28年10月19日(水)	平成28年度上半期事業報告及び下半期の事業計画について
第2回	平成29年3月15日(水)	平成28年度下半期事業報告、 平成29年度事業計画(案)について

●美術品選定評価委員会

○開催日：平成29年2月3日（金）

○委員(敬称略)　5人
猿渡紀代子(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、原田光(学識経験者)、橋本善八（学識経験者）

（5）　その他

○企画展「トリック展」で、午後6時までの開館延長と親子割引を実施した。開館延長時間中観覧者数は943人、親子割引は11,316人が利用した。

Ⅴ 施設利用者等の統計

平成 29 年 2 月 28 日現在

（1） 展覧会

●観覧者数　月別統計

月	開館日数	企画展	特集展	合計
4 月	26	2,304	0	2,304
5 月	26	7,501	0	7,501
6 月	26	5,040	0	5,040
7 月	27	21,427	0	21,427
8 月	26	34,548	0	34,548
9 月	26	1,915	0	1,915
10 月	26	8,387	0	8,387
11 月	26	9,929	0	9,929
12 月	24	0	1,687	1,687
1 月	24	0	2,964	2,964
2 月	24	0	2,276	2,276
3 月				
計	281	91,051	6,927	97,978

●学校観覧

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	8 校	527 人	37 人	4 校	184 人	13 人
	市外	10 校	418 人	28 人	3 校	224 人	16 人
中学校	市内	21 校	487 人	54 人	0 校	0 人	0 人
	市外	50 校	782 人	76 人	1 校	10 人	1 人
高等学校		12 校	176 人	68 人	2 校	17 人	4 人
計		**101 校**	**2,390 人**	**263 人**	**10 校**	**435 人**	**34 人**

（2） 貸出施設

●市民アートギャラリー 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4 月	24 日	4 団体	2,992 人
5 月	30 日	7 団体	4,664 人
6 月	24 日	7 団体	4,673 人
7 月	18 日	3 団体	3,276 人
8 月	30 日	6 団体	5,667 人
9 月	23 日	6 団体	4,193 人
10 月	26 日	5 団体	3,782 人
11 月	30 日	7 団体	9,033 人
12 月	12 日	3 団体	2,880 人
1 月	27 日	8 団体	5,588 人
2 月	28 日	2 団体	3,567 人
3 月			
計	**272 日**	**58 団体**	**50,315 人**

●ミュージアムホール 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	9日	9団体	454人
5月	―	―	―
6月	2日	2団体	260人
7月	2日	2団体	41人
8月	―	―	―
9月	4日	4団体	377人
10月	―	―	―
11月	6日	6団体	455人
12月	12日	12団体	1,040人
1月	4日	4団体	164人
2月	7日	7団体	486人
3月			
計	46日	46団体	3,277人

５月、８月、１０月は、展覧会ＤＶＤ上映のため利用団体はありません。

●アトリエ 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	1日	1団体	50人
5月	0日	0団体	0人
6月	0日	0団体	0人
7月	0日	0団体	0人
8月	0日	0団体	0人
9月	1日	1団体	40人
10月	6日	6団体	170人
11月	0日	0団体	0人
12月	0日	0団体	0人
1月	9日	2団体	228人
2月	3日	3団体	44人
3月			
計	20日	13団体	532人

Ⅵ　施設の管理

（1）　防災訓練

〇実施日時

　平成 28 年 6 月 8 日（水）9:00～9:30

〇内容

- 全国瞬時警報システム（緊急地震速報）配信時の対応
- 大地震発生時の対応
- 火災発生時の対応（通報・初期消火・避難誘導）
- 津波避難行動訓練
- 水消火器での消火訓練
- 展示準備室からの避難経路の確認

〇想定

　全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が配信され、その後大地震が発生する。地震の影響で、市民アートギャラリーA控室から火災が発生し、火災報知機が火災を感知する。

　設備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。

平成２９年度　上半期事業案

Ⅰ 展覧会

（1）企画展　リアル(写実)のゆくえ　高橋由一、岸田劉生、そして現代につなぐもの

種　別	企画展
会　期	4月15日(土)～6月11日(日)
主　催	平塚市美術館
協　賛	神奈川中央交通株式会社
協　力	NHKプラネット中部
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	50日
担　当	土方明司(当館館長代理)、品川ちひろ(当館嘱託員)

●内容

江戸時代から徐々に将来された西洋画は、その科学的な写実技法により伝統的な日本の絵画と大きく異なり、当時の人々に衝撃を与えました。高橋由一は西洋の石版画と邂逅し、その迫真の描写に感動して洋画家を志しました。彼にとって写実とは、自然や身近なものなど外界に対する清新な感動を伝える手立てとして機能しました。さらに大正期、岸田劉生は北方ルネサンスの巨匠たちの「クラシックの美」をめざし卓抜した描写力で写実を極めました。それは現実を超え出る写実であり「内なる美」の表出として高く評価されています。劉生および彼の率いる草土社は同時代の青年画家たちに大きな影響をもたらしました。ここにおいて写実は外界の描写のみならず内面を表出する手段として機能しました。由一と劉生の事物に対するアプローチは異なりますが、両者とも偽りのない心情を示すため細部まで写実的に再現する必要があったことに変わりはありません。

その後、写実絵画は時代の変遷とともに、様々な役割を担いました。また、写実という概念そのものも時代の思潮により変化をきたしました。それは西洋由来の写実をいかに消化し己のものにするかという意識の表れかもしれません。

今また細密描写による写実が注目されています。本展は、移入され150年を経た写実がどのように変化しまた変化しなかったのか、日本独自の写実とは何かを作品により検証し、明治から現代までの絵画における写実のゆくえを追うものです。

●関連事業

○巡回4館の学芸員によるリレーギャラリートーク
日時：4月15日(土) 15:00～16:00
場所：展示室Ⅰ　※申込不要、要観覧券

○担当学芸員によるギャラリートーク
日時：4月23日(日)、5月13日(土)　各回14:00～14:40
場所：展示室Ⅰ　※申込不要、要観覧券

○江尻潔(足利市立美術館学芸員)×土方明司(当館館長代理)　対談
「リアル(写実)のゆくえ展を熱く語る」
日時：5月21日(日)　14:00～15:30
場所：ミュージアムホール※申込不要、無料　※先着150名

○親子鑑賞サポートタイム
親子で作品を鑑賞する際のポイントについてレクチャーを受け、実際に展示室で展覧会を鑑賞します。
日時：5 月 12 日（金）　集合 10:00　（1 時間程度を予定）
場所：展示室Ⅰ、ミュージアムホール
対象：未就学児とその保護者（※保護者は要観覧券）

（2）企画展　斎藤文夫コレクション　浮世絵　神奈川名所めぐり

種　別	企画展
会　期	4月15日(土)～6月11日(日) 前期　4月15日（土）～5月14日（日）　後期　5月16日（火）～6月11日（日） ※前後期で全点展示替え
主　催	平塚市美術館
特別協力	公益財団法人　川崎・砂子の里資料館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	50日
担　当	家田奈穂(当館学芸員)

●内容
　太平の世を謳歌していた江戸時代後半、多くの人が旅に出るようになりました。その背景として、江戸・日本橋を起点とした各街道が徐々に整備されて道中の安全性が高まったこと、経済の発展により人々の生活に余裕が生まれたこと、また、十返舎一九作『東海道中膝栗毛』の大ヒットにより旅への関心が強まったことなどが挙げられます。旅に出ることが叶った人々は、伊勢神宮などへの参詣を名目に、東海道を上りながらの物見遊山を楽しみました。
　現在の神奈川県域は、江戸時代には武州（武蔵国）・相州（相模国）と呼ばれ、江戸の庶民が信仰した寺社や古くからの景勝地が点在していました。江の島や大山は信仰の場所として多くの参詣者を集め、金沢は風光明媚な場所として、箱根は湯治場として人気がありました。また、武州・相州には、京と江戸を結ぶ主要な幹線道路である東海道が通り、平塚をはじめとする宿場町が賑わいをみせていました。各地のそのような賑わいが、多くの浮世絵師によって描き出されています。
　本展は、川崎・砂子（いさご）の里資料館館長・斎藤文夫氏が長年にわたって精力的に収集した浮世絵の中から、神奈川県内の名所・東海道の宿場を題材とした優品 200 点をご紹介することで、郷土の魅力を再確認しようとするものです。ここでご覧いただく名所の多くは、現在も変わらず私たちにとって馴染み深い観光地です。その今昔をお楽しみください。

●関連事業
○講演会「浮世絵あれこれ」
日時：4 月 15 日（土）10:30～11:30
講師：斎藤文夫氏（公益財団法人 川崎・砂子の里資料館館長、神奈川県観光協会会長）
場所：ミュージアムホール　※無料、先着 150 名

○浮世絵版画　摺りの実演会
日時：5 月 14 日（日）　11：00～12：30、14：00～15：30
講師：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
場所：ミュージアムホール　※無料、先着 50 名

〇担当学芸員によるギャラリートーク
日時：4 月 22 日（土）、5 月 20 日（土）　各 14：00～14：40
場所：展示室 Ⅱ　※申込不要、要観覧券

〇親子鑑賞サポートタイム
日時：5 月 17 日（水）　集合 10：00（1 時間程度を予定）、
　　　ミュージアムホールにお集まり下さい。
対象：未就学児とその保護者（保護者は要観覧券）

（3）企画展　ブラティスラヴァ世界絵本原画展　絵本の５０年　これまでとこれから

種　別	企画展
会　期	7月8日(土)～8月27日(日)
主　催	平塚市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
後　援	スロヴァキア共和国大使館、絵本学会
協　賛	イオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、（日本テレビ放送網）、神奈川中央交通株式会社
協　力	スロヴァキア国際児童芸術館（ＢＩＢＩＡＮＡ）、一般社団法人 日本国際児童図書評議会（ＪＢＢＹ）
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30) ※8月5日（土）～8月27日（日）は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	46日
担　当	江口恒明(当館学芸員)

●内容

　スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで 2 年ごとに開催される「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」(略称 BIB＝Biennale of Illustrations Bratislava)は、隣国のチェコ共和国と合わせてひとつの国・チェコスロヴァキアであった 1965 年にユネスコと国際児童図書評議会の提唱によって創設され、1967 年第１回 BIB が開かれました。そして 2015 年秋には記念すべき第 25 回目・50 周年を迎えました。

　世界最大規模の絵本原画コンクールである同展は、実際に出版された絵本の原画を審査の対象にすることを特徴にしており、芸術性が高い作品や、実験的でユニークな作品が集まることでも知られています。

　このたびの日本巡回展では展示前半にて、50 周年を機に、BIB への歴代参加作品の中から「日本の絵本の歴史 50 年」を振り返り、BIB がその発展に果たした役割を考えます。BIB が創設されたのは、折しも日本の絵本文化が大きく花開こうとしていた時期にあたります。その設立から現在まで BIB と日本の関係は深く、過去半世紀の日本と BIB の歩みを辿るということはまた、私たち自身と絵本との関わりに目を向けることといえるでしょう。

　展示後半部分では、参加 50 ヶ国の国内選考を経てノミネートされ、2015 年 9 月にブラティスラヴァで行われた国際審査によって決定した、グランプリをはじめとする第 25 回 BIB の受賞作品および、日本からの出品作品を紹介し、絵本の今、そして絵本のこれからを期待させる新鮮な表現、独創的な試みをご覧いただきます。

●関連事業
○絵本作家・松田奈耶子さんと ちょうちょを描こう！！
内容：展覧会出品作家と一緒にちょうちょを描きます。
日時：8 月 4 日（金）13:30～16:30
場所：展示室、アトリエ A
対象：3 歳～小学生

○光のりんごに思いを込めよう
内容：BIB の金のりんご賞をイメージしたりんごの形のカッティングシートに、展覧会の感想を書いてテーマホールのガラスに貼りましょう。
日時：7 月 22 日（土）～8 月 6 日（日）各日先着 30 名
場所：テーマホール
対象：0 才～一般

○みんなで選ぼうお気に入りの絵本原画!!～ひらつか子ども審査員賞～
投票期間：7 月 8 日(土)～8 月 10 日(木)、発表期間：8 月 15 日(火)～8 月 27 日(日)
対象：本展来場の中学生までの子ども
場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

○夏休みに美術館・博物館・図書館をめぐろう！スタンプラリー
期間：7 月 21 日(金)～8 月 29 日(火)

○学芸員によるギャラリートーク
日時：7 月 22 日(土)、8 月 19 日(土)、各回 14:00～14:40
場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

（4）特集展　夏の所蔵品展 - 山の絵

種　別	特集展
会　期	7月1日(土)～9月10日(日)
主　催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30) ※8月5日（土）～8月27日（日）は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日（ただし7月17日は開館）、7月18日（火）
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	62日
担　当	家田奈穂(当館学芸員)

●内容

このたび、平塚市美術館では、2016年に制定された「山の日」を記念して所蔵品による山の絵展を開催いたします。

山がいまだ多くの人にとって未知の領域であったころ、畏怖や信仰の対象であったり、仙境や桃源郷を投影するものでした。明治３０年代に入って近代登山が始まると、日本アルプスの壮大な風景が登山家たちによって発見され始めました。その後、大正から昭和前期にかけて登山ブームが巻き起こり、更に交通機関が発達するにつれ、登山を目的としない人々も手軽に山岳風景に接することが可能になりました。こうして「山」という新しい風景が人々の眼前に展開します。雄大な滝や山々の連なり、雨にけぶる山容、夕映え、足下の花々や木々に埋め尽くされる視界の中に、豊かな魅力をたたえた風景を発見した画家たちは、そのみずみずしい感動を作品化していきます。

本展では、明治から現代までの山を描いた作品を紹介し、その表現の多様性を示すとともに、山の魅力を絵画の世界から振り返ろうとするものです。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク
日時：会期中数回を予定
場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

（参考）29年度下半期開催予定展覧会

（5）企画展　片岡球子展
会期：9月30日（土）～11月26日（日）

（6）企画展　神山明と濱田樹里展
会期：9月30日（土）～11月26日（日）

（7）ロビー展 長谷川さちの彫刻
会期：12月2日（土）～2017年4月初旬

（8）所蔵作品による〝なんだろう〟展＋新収蔵品展
会期：12月9日（土）～2017年2月25日（日）

Ⅱ 教育普及

平成29年度上半期　実施プログラム

15プログラムを実施予定。

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師	開催予定日
1	体験アートセラピー 親子でパステルアート 笑顔のカードを作ろう	福山恵美子 (アートセラピスト)	4月22日（土）
2	遊んでのびのび赤ちゃんアート　春 (連続講座)	冨田めぐみ (NPO法人赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会　代表理事)	4月27日(木)・ 5月11日(木)・ 6月8日（木）
3	バックヤードツアー	当館学芸員(勝山滋)	5月20日(土)
4	キルンキャストでガラスのオブジェを作ろう!! (連続講座)	大谷佳子（ガラス作家）	未定
5	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう 一般の部	滝波重人(東海大学教授)、 河野孝博(東海大学教授)、 岡端美香(東海大学大学院生)	6月4日(日)
6	おうちの窓を天の川にしよう！ 星とカササギの七夕モビール作り (連続講座)	依田梓（美術作家）	7月2日（日）
7	体験アートセラピ- 親子でパステルワーク ～お魚塗り絵で遊ぼう～	福山恵美子(アートセラピスト)	7月8日(土)
8	遊んでのびのび　赤ちゃんアート　夏 (連続講座)	冨田めぐみ (NPO法人赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会　代表理事)	7月13日(木)・ 8月3日(木)・ 9月7日(木)
9	光のリンゴに思いを込めよう	なし	7月22日(土)～8月6日(日)
10	作ってあそぼう　わくわくランド	市内保育士	7月29日(土)
11	ブラティスラヴァ世界絵本原画展 関連事業 絵本作家・松田奈那子さんと ちょうちょを描こう!!	松田奈那子（画家・絵本作家）	8月4日(金)
12	中高生ボランティアと工作をしよう！ 缶バッジ・プラバン作り ワークショップ	中学生高校生ボランティア	8月11日（金）・12日（土）・ 13日（日）
13	作ってあそぼう　わくわくランド	市内保育士	8月19日（土）
14	0才からの鑑賞ツアー	冨田めぐみ (NPO法人赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会　代表理事)	8月30日(水)
15	キッズ鑑賞ツアー	冨田めぐみ (NPO法人赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会　代表理事)	9月2日(土)

●スクールプログラム

依頼があれば、随時実施。
担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)

●アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学校向け教材として無料貸出を行っています。

●対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

担当：江口恒明（当館学芸員）、久保田知美（当館嘱託員）
市内小学校を対象とした対話による美術鑑賞事業を実施するため、対話による美術鑑賞ボランティア（ひらビあーつま～れ）1 期生 14 名、2 期生 15 名、及び新規に募集を行う 3 期生の育成を行う。

ボランティア育成の為の研修会。13 プログラム実施予定。

NO.	研修名	講師名	開催予定日
1	2 期生　実践研修　1 回目	三ツ木紀英（ＡＲＤＡ）	4 月 6 日（木）
2	2 期生　実践研修　2 回目	当館嘱託員	4 月 20 日（水）
3	2 期生　実践研修　3 回目	三ツ木紀英（ＡＲＤＡ）	5 月 18 日（木）
4	2 期生　実践研修　4 回目	当館嘱託員	5 月 25 日（木）
5	2 期生　実践研修　5 回目	三ツ木紀英（ＡＲＤＡ）	6 月 1 日（木）
6	2 期生　実践研修　6 回目	当館嘱託員	6 月 22 日（木）
7	2 期生　実践研修　7 回目	三ツ木紀英（ＡＲＤＡ）	7 月 6 日（木）
8	2 期生　実践研修　8 回目	当館嘱託員	7 月 20 日（木）
9	1 期 2 期 3 期　交流会	当館嘱託員	8 月 24 日（木）
10	3 期生　基礎研修　1 回目	三ツ木紀英（ＡＲＤＡ）	9 月 2 日（土）
11	1 期 2 期　合同研修　1 回目	当館嘱託員	9 月 7 日（木）
12	3 期生　基礎研修　2 回目	三ツ木紀英（ＡＲＤＡ）	9 月 9 日（土）
13	1 期 2 期　合同研修　2 回目	当館嘱託員	9 月 28 日（木）

市内小学生を対象にした対話による美術鑑賞講座。7 校を対象に実施予定。

奏プランの位置付け

平塚市教育委員会では、平成２２年度からの１０年間を見据えた「平塚市教育振興基本計画」通称　奏プランを策定しています。

奏プランは、「豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち」づくりを教育分野の基本目標に掲げる「平塚市総合計画」の方針「一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ」「生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ」を達成するため、平塚市教育委員会が取り組む教育振興基本計画と位置付けています。

奏プランの実施計画を構成する事業は、５年間を見据えつつ取り組みますが、毎年度実施する「教育委員会の点検・評価」の結果や社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて見直しをしながら推進するもので、美術館では、５つの事業が奏プランに含まれています。

平成２８年度　教育委員会の点検・評価　　　　　　　　　　　　**担当課：　美術館**

重点項目	重点項目４　生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	４－３
事業名	**アートギャラリー等施設利用促進事業**		
事業概要	館を訪れる方の安全の確保と美術品の良好な保存のため、施設の補修や保守点検等適切な維持管理をします。		
主な行動目標	アートギャラリーやミュージアムホール等施設の利用促進をめざします。 ※目標値は、アートギャラリー等の利用者数		

平成２８年度　目標値	平成２８年度　実績値	平成２９年度　目標値
６７，０００人	４８，９８１人	６８，０００人

１　平成２８年度の実績（平成２９年１月３１日現在）

施設名	利用団体数	利用日数	入場者数
市民アートギャラリー	５６団体	２３９日	４５，７０２人
ミュージアムホール	３９団体	３９日	２，７９１人
アトリエ	１０団体	１７日	４８８人
合計	１０５団体	—	４８，９８１人

特記事項

・２月にミュージアムコンサート「ヴァイオリンとピアノの二重奏」をした。（198 名参加）
・アートギャラリー催し物予定をホームページや館内で周知したり、アトリエの利用促進として広報等に利用案内をするなどＰＲに努めた。
・館を訪れる方の安全と施設の快適利用のため、関係課等と設備などの確認を行うとともに定期的に館内を巡視し維持管理を行った。
・市民アートギャラリーは、幼小図工作品展、平塚市保育園児絵画展、平塚市文化祭など幅広く利用され、多くの方が来場した。
・平成２９年度レストラン経営者を公募し、選考委員会を開催し、新経営者が決まった。

協議会委員の意見欄

① 事業の感想やコメント

・市民アートギャラリーは、児童の作品が各校から出品され一堂に展示される貴重な場である。
・市民サークルや同好会活動の発表の場であり、鑑賞と交流の場となっている。
・施設利用は、美術館を身近に感じ、市民と美術館がつながる重要な事業である。

② 今後に期待すること

・幼小図工作品展や保育園児絵画展、コンサートなどで施設は幅広く利用されているため、今後も利用促進につながる様々な企画をしていただきたい。広報案内等によりさらなる施設の利用促進が図られることを期待します。
・ミュージアムコンサートは人気があり、レストランは再開され、美術館が利用者に憩いと潤いを与える生涯学習拠点として魅力アップにつなげていただきたい。
・こども年賀状展は、学校や郵便局などの協力を得て、多くの作品が集まることを期待します。

【美術館の取組み】

・市民アートギャラリー等の施設のＰＲと利用促進に努めます。ミュージアムコンサートの開催を継続します。また、館を訪れる方の安全の確保等適切な管理に努めます。

平成２８年度　教育委員会の点検・評価　　　　**担当課：　美術館**

重点項目	重点項目４　生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	４－５
事業名	**美術品の調査・収集事業**		
事業概要	美術品の収集活動・調査研究や保存活動等を行い、作品情報等をホームページや情報コーナーで公開します。		
主な行動目標	最新のデジタル画像を提供するため、更新を行います。 ※目標値は、最新デジタル画像公開件数		

平成２８年度　目標値	平成２８年度　実績値	平成２９年度　目標値
４４件	—	４６件

１　平成２８年度実績

作品の購入　　　０点
作品の寄贈　　３３点
作品の寄託　　　８点

特記事項

・昨年度寄贈寄託を受けた作品は、今年度の冬の所蔵品展での展示やホームページで公開した。
・開催した展覧会を契機に、作品の寄贈があった。
・寄贈寄託作品は、日本画、油彩、彫刻等幅広く来年度以降の所蔵品展で市民に公開予定。また、情報コーナーやホームページでも公開予定。
・平塚市美術館湘南フレンズ倶楽部から、不思議なアート　トリック　トリック　ハッ！とトリック展で展示した福田美蘭「見返り美人　鏡面群像図」作品が美術館に寄贈された。

協議会委員の意見欄

① 事業の感想やコメント

・所蔵品の充実を図ることは、調査研究及び保存活動を含め、美術館の最も重要な事業です。
・作品情報は、展示やホームページの公開を通して、とても得やすくなっている。
・開催した展覧会を契機とした寄贈はありがたい。美術館に対する信頼度、期待度が伺える。

② 今後に期待すること

・作品購入は、美術館の姿勢を内外に示すことに通じます。数年来作品購入がないので、予算化されるよう工夫して、作品購入に結びつくことを期待します。
・ホームページの充実を含め、最新データの更新に期待します。新収蔵作品をホームページで紹介することで、今後開催する新収蔵品展への楽しみが増すことにつながる。
・市民の共有財産である美術品の収集調査、公開は市民の関心が高い。定期的な展示紹介、ホームページでの公開に努めていただきたい。

【美術館の取組み】

・展覧会開催を通じて、作品の寄贈等にとなるように今後も努めます。
・ホームページの充実と最新データの更新に努めます。

平成２８年度　教育委員会の点検・評価　　**担当課：　美術館**

重点項目	重点項目４　生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	４－６
事業名	**美術教育の普及・体験事業（ワークショップの開催）**		
事業概要	美術に親しむ人々の拡大と美術に関する学習活動や体験を目的に、子供・親子や成人を対象としたワークショップを行います。		
主な行動目標	美術体験に対する関心を高めてもらうため、参加者を増やします。 ※目標値は、ワークショップへの参加者数		

平成２８年度　目標値	平成２８年度　実績値	平成２９年度　目標値
１，２００人	１，８４８人	１，３００人

１　平成２８年度の実績（平成２９年１月３１日現在）

美術への関心と親しむ人を増やす目的の体験型学習活動として、子供対象・親子対象・一般対象・スクールプログラムの 41 講座を実施し、1,848 名の参加があった。

中でも「赤ちゃんアート」は1歳から２歳３ヶ月までの子どもと保護者が絵の具、折り紙などでふれあい・コミュニケーションを体験する講座で、日常を忘れリラックスできる人気が高いワークショプで、子育て支援にもなっている。

特記事項

- 不思議なアート展関連ワークショップはいずれも好評でした。特に「チョークで道に海の生き物を描こう」は、207 名も参加があった。また、作家本人による「ジェルキャンドルにお魚を描こう」は定員を大きく上回る申込みがあり、参加者は熱心に作品の制作にあたっていた。
- 教員や学校事務職員を対象とした研修会を５回実施した。（125 名参加）
- 市内保育園児を対象に園児鑑賞ツアーは、昨年度と同じ５園実施した。
- 市内小学生を対象とする「対話による美術鑑賞」は、今年度３校での実施予定だったが、５校で実施した。生徒たちは、絵画から感じた感想等を活発に出し合っていた。（354 名参加）

協議会委員の意見欄

① 事業の感想やコメント

- 赤ちゃんアートは、地域の子育てを支援する良いプログラムである。子どもの頃から美術に親しむ経験は、とても大切である。
- 子育て支援や教育現場支援等、ワークショップを通じて教育に計り知れない効果をもたらしている。また、対話による美術鑑賞は、予定を上回る実績で、大いに評価できる。
- 夏休みのワークショップは、日頃家庭では出来ない子供たちの人気の事業となっている。

② 今後に期待すること

- ワークショップの経験から美術に関心を持ち、美術館に気軽に足を運ぶ人が増えることを期待している。また、ワークショップの継続を期待している。
- 校長会や教頭会などあらゆる機会や団体を通して、普及体験事業のＰＲの工夫を期待したい。
- 対話による美術鑑賞のボランティア育成が順調に進み、今後の事業拡大に期待したい。

【美術館の取組み】

- 子育て支援の赤ちゃんアートや小学生を対象とした対話による美術鑑賞など、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年齢層を対象としたワークショップの充実と継続、ＰＲを図っていきます。

平成２８年度　教育委員会の点検・評価　　　　　　　　　　　　**担当課：　美術館**

重点項目	重点項目４　生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	４－７
事業名	**魅力ある美術展覧会事業**		
事業概要	多様な年齢層が国内外の優れた近現代美術作品に接する機会を充実するため、テーマを設定した企画展と所蔵品を活用した特集展を開催します。		
主な行動目標	美術に対する関心を高めてもらうため、観覧者数を増やします。 ※目標値は、展覧会への観覧者数		

平成２８年度　目標値	平成２８年度　実績値	平成２９年度　目標値
１００，０００人	９５，７０２人	１００，０００人

１　平成２８年度の実績（平成２９年1月３１日現在）

展覧会名	観覧者数
「北海道近代美術館所蔵名品展」	７，４３６人
「不思議なアート　トリックトリックハッ！とトリック展」	３０，７５６人
「香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治展」	１０，８４３人
「萬鉄五郎×岸田劉生　その仲間たち展」	７，４０９人
「田澤茂と石井礼子展」	２５，４７２人
「創画会ゆかりの画家たち展」	９，１３５人
「私のくらしを彩る絵展」	２,２９６人
ロビー展　「黒川弘毅の彫刻」	２，３５５人
合　計	９５，７０２人

特記事項

・不思議なアート　トリックトリックハッ！とトリック展は、子どもから５０才代までの世代に人気で歴代５位の観覧者数となった。また出品作品の中からハッ！とした１点を選んで投票してもらう「みんなで選ぼう　ハッ！としたアート」を実施した。（2,963 名参加）
・夏季の展覧会期間中は、親子割引（11,316 名）、開館時間延長（943 名）を実施した。
・香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治展では、館長への手紙等で、展覧会に感動した等の好意的な意見を多くいただいた。

協議会委員の意見欄

①　事業の感想やコメント

・丸木さん等にスポットを当てた企画展は、館長の切実な思い等、観る者を圧倒する素晴らしい展示であった。現代社会への美術館としての意志の発信を感じた。
・観覧者数の目標値達成も間近で、幅広い世代を視野に魅力あふれる展覧会は高く評価できる。
・学校の夏休み期間は、家族で観覧する良いチャンスで、親子割引は有効である。
・「みんなで選ぼう　ハッ！としたアート」は良い取組み。結果発信の工夫で観覧者が増える。

②　今後に期待すること

・これからも芯のある展覧会事業の展開、継続に期待します。香月展のような発信力の企画、一般向けや若手発掘の企画など今後もメリハリのある展覧会を期待している。
・様々な媒体を使用して、ＰＲ活動の継続をしていただきたい。

【美術館の取組み】

・１年を通じて、世代や内容などバランスのとれた展覧会の開催に努めます。
・展覧会の内容に応じて市民参加ができる取組みや親子割引等を引き続き考えていきます。

平成２８年度　教育委員会の点検・評価　　担当課：　美術館

重点項目	重点項目４　生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	４－２５
事業名	**美術教育の普及・体験事業（ギャラリートークの実施）**		
事業概要	担当学芸員が展覧会のポイントや作品の解説・質疑応答等を行いながら、展覧会全体を理解してもらうギャラリートークを行います。		
主な行動目標	美術に対する関心を高めてもらうため、参加者を増やします。 ※目標値は、展覧会でのギャラリートークへの参加者数		

平成２８年度　目標値	平成２８年度　実績値	平成２９年度　目標値
６００人	５５４人	６２０人

１　平成２８年度の実績（平成２９年１月３１日現在）

展覧会名	実施回数	参加者数
「北海道近代美術館所蔵名品展」	３回	６５人
「不思議なアート　トリックトリックハッ！とトリック展」	２回	９０人
「香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治展」	３回	１０５人
「萬鉄五郎×岸田劉生　その仲間たち展」	２回	５５人
「田澤茂と石井礼子展」	２回	３７人
「創画会ゆかりの画家たち展」	５回	１７１人
「私のくらしを彩る絵展」	１回	１５人
ロビー展　「黒川弘毅の彫刻」	１回	１６人
合計	１９回	５５４人

特記事項

・創画会ゆかりの画家たち展の作家本人によるアーティストトークは人気があり、参加者が多かった。

・「香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治展」では、ギャラリートークのほか川田喜久治氏による講演会（117 名参加）、映画監督　小栗康平氏による講演会（91 名参加）を開催。また映画「ＦＯＵＪＩＴＡ」（173 名参加）を上映。いずれも好評でした。

協議会委員の意見欄

① 事業の感想やコメント

・ギャラリートークなどに加え、講演会や映画上映など、多彩な試みがあり、美術に対する関心を高める姿勢に共感した。このような取組みは、作者や作品のエピソードを知り、より深く展覧会を楽しむことができる。地道な取組みこそ美術館の魅力につながる。

・美術館は、美術を通して心豊かな人間形成を図る生涯学習の拠点である。

・見る、聞くのほか、触る、体感が出来る企画も美術に関心をもつ上で有効である。

② 今後に期待すること

・参加者に好評なアーティストトークやギャラリートークは、今後も継続していただきたい。

・美術館と館員の仕事に関心をもってもらうトークの試みをしていただきたい。

・作家自身による講演会を可能な限り増やしていただきたい。

【美術館の取組み】

・観覧者が作品に対し理解を深め、より身近に感じていただけるよう、学芸員や作家本人によるギャラリートークや展覧会に関連した講演会の開催を継続します。